

伊達市初！

「国際交流員」を採用しました

英語が溶け込むまちづくりを目指して

2月1日、伊達市で初となる「国際交流員」として、アメリカ合衆国出身のビショップ・ジェニファーさんに辞令書を交付しました。

市では、第2次総合計画に掲げる「多様な交流の推進」を図るため、「英語が溶け込むまちづくり事業」に取り組んでいます。市民に身近に英語に触れる環境づくりを進め、将来的には、国際交流分野で活躍する人材の育成につなげていくことを目標としています。国際交流員はこの事業を推進していただくことが期待されています。

「英語が溶け込むまちづくり事業」では、今後、子どもたちが集まる施設で音楽などを使った英語体験、市が作成した冊子の英語版作成、伊達市国際交流協会活動への協力などを行っていきます。



仁志田市長から辞令書を受け取るジェニファーさん

仁志田市長から辞令書を受け取ったジェニファーさんは「伊達市には外国人が好む食や自然がたくさんある。外国人の視点で伊達市の魅力を発信したい。市民の皆さんにも英語に親しんでもらえるような活動をしていきたい」と意気込みを語りました。

* INTRODUCTION

英語が溶け込むまちを目指して日々奮闘中！

国際交流員のジェニファーさんをご紹介します

伊達市の好きなところは？

霊山が好きで、登ったこともあります。神秘的で美しい景色が素敵です。

Nice to meet you !



どんな活動をしていきたいですか？

子どもたちにとって、初めての英語の体験が楽しいものだと感じてもらえるようにしたいです。外国の文化に触れる機会を提供できるように、がんばっていきたいです。

伊達市に初めて来たのはいつですか？

3年前に ALT（英語指導助手）として来日しました。伊達小学校、伊達東小学校、栗野小学校、伊達中学校で英語を教えていました。

ビショップ・ジェニファー
Bishop Jennifer

アメリカ合衆国ニューヨーク出身。趣味は登山とカメラ。好きな日本食はトンカツ。